

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース						
第2582回★★ 戸隠山 1,911m 聖山 1,447m もとどりやま 髻山 744.5m	10月2日(金) ~4日(日) 2日AM8:00 竹田駅西口集合	吉田 武							
(2日) 竹田駅西口—京都南IC—麻績IC—聖山登山口…聖山往復…聖山登山口—麻績IC— 長野IC—戸隠バードライン—戸隠 旅の宿「白樺荘」泊まり (3日) 戸隠 旅の宿「白樺荘」…—不動避難小屋…九頭龍山…八方睨…戸隠奥社…戸隠奥社 入口戸隠キャンプ場—野尻湖 湖畔の宿「藤屋旅館」泊まり (4日) 湖畔の宿「藤屋旅館」—R18牟礼(北国街道)—豊野町…髻山登山口…髻山往復… 髻山登山口—信州中野IC—京都南IC—竹田駅西口 解散									
備考 <ul style="list-style-type: none"> 参加希望者は担当者まで連絡してください。 費用 30,000円 宿について <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 20%;">白樺荘</td> <td style="width: 30%;">長野県戸隠高原</td> <td style="width: 50%;">TEL 026-254-2160</td> </tr> <tr> <td>藤屋旅館</td> <td>長野県信濃町</td> <td>TEL 026-258-2514</td> </tr> </table> 				白樺荘	長野県戸隠高原	TEL 026-254-2160	藤屋旅館	長野県信濃町	TEL 026-258-2514
白樺荘	長野県戸隠高原	TEL 026-254-2160							
藤屋旅館	長野県信濃町	TEL 026-258-2514							
第2581回★ 額井火山群	10月4日(日) 9:00 近鉄榛原駅 改札口集合	堀田 剛	榛原駅…(東海自然歩道)… 戒場山…額井山…香醉山…貝 ケ平山…鳥見山…榛原駅						
備考 <ul style="list-style-type: none"> 9月12日は悪天候でしたので、日程を変更しました。 参加希望者は担当者まで連絡してください。 									

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2583回★★ 創部60周年記念 海外登山 台湾 雪山 (3,886m)	10月14日(水) ~18日(日) 14日AM10:30 関西国際空港4F 国際線出発ロビー チャイナエアラインカウンター	井戸 澄夫 清水 康裕	
<p>(14日) 10:30関西国際空港4階 国際線出発ロビー チャイナエアラインカウンター集合、 出国手続き等 13:15関空出発⇒(搭乗飛行機:チャイナエアライン CI・157)⇒ 15:05台北桃園空港着 入国手続き、空港で両替(個人使用分, 1台湾\$≒3円, 日本国内より有利なため)等—(現地ツアー会社がマイクロバスで出迎え)—17:30 雪山トンネル—18:00礁溪(夕食 温泉地ローカルレストラン) 19:00—19:30員山 —20:00中横支線—22:30雪山山麓武陵農場近辺の宿 武陵国民賓館(宿泊 標高 2,000m)</p> <p>(15日) 武陵国民賓館 7:00起床 7:30朝食(おかゆと漬物などを山岳ガイドが用意) 8:00—8:30登山口(標高2,200m)…10:00シチカ山荘…12:00哭坡下展望台 (昼食 お弁当)…13:30東峰口…13:40雪山東峰(標高3,201m)…14:10東峰口… 16:00三六九山荘(宿泊 標高3,100m) (夕食は中華風料理を山岳ガイドが用意。団体部屋で山岳ガイドが用意した寝袋を利用。)</p> <p>(16日) 三六九山荘 1:00起床 2:00朝食(おかゆと漬物などを山岳ガイドが用意) 2:30… 3:00黒森林…4:00水源区…5:00冰斗入口…6:00雪山主峰(標高3,886m)… 9:00三六九山荘…13:00シチカ山荘…15:00雪山登山口(軽食:カップラーメン)— 18:00礁溪(温泉入浴, 食事)—22:00台北駅前のホテル 華華大飯店(宿泊)</p> <p>(17日) 華華大飯店 8:00起床, 朝食—9:00台北市内観光に出発—(地下鉄, バス)— 故宮(中国歴代王朝の宝物), 台北101ビル(世界第2位の高さ)等 昼食はテイタイ フォンの小籠包を予定(市内観光は自由行動も可)—17:00華華大飯店 18:00華華 大飯店近くのレストラン(広東料理)で打ち上げ</p> <p>(18日) 華華大飯店 早朝5:00前起床, 朝食は弁当 出発5:00—(マイクロバス)— 6:00桃園空港到着 出国手続き等 8:25出発⇒(搭乗飛行機:チャイナエアライ ン CI・156)⇒11:55関空到着 入国手続き終了後 解散</p>			
<p>備考 ・先般の台風8号により、台湾政府の発表では、玉山の登山歩道は大きな被害がなかつたが、玉山周辺の道路は落石による深刻な被害があり、復旧作業が間に合わないので玉山登山を禁止するとのことです。そのため、登山の行き先を玉山から雪山へ変更しました。 ・参加予定者は11名。現地ツアー会社(日通ペリカントラベル)を通して、台湾政府の登山許可取得済み。航空会社はチャイナエアライン(中華航空)です。</p>			
今月の集会 日時 10月9日(金) 18:30~ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)		企画運営委員会 日時 10月20日(火) 18:30~ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)	



長引いた梅雨と、気温が35度を超える猛暑日が7月、8月で6日間（昨年21日間）と極端に少なかったためか、今年の夏は近年まれに見る短さで過ぎ去り、夏山・沢登りの予定を立てる間もなく終わってしまった気がする。

秋は、焚き火が似合う季節と言うこともあって、先日オートキャンプ場で火をともしてみた。焚き火の炎に幼い子供たちが異常なほど興味を示し、その場を離れようとしないうちに驚かされた。我が家はオール電化であり、コンロや給湯器ですら炎を見ることがない状態であるから無理もないことかもしれない。

登山で訪れる山の中では焚き火を禁止しているところがほとんどで、非常時を除いて焚き火をする機会は少なくなった。昨年の夏、沢登りで笛吹川に行った時のこと。遡行途中で、ビバークしたおりに火を焚いたが、冷えた体を温め、闇夜に明かりをもたらしてくれる炎にこれまで感じたことのない頼もしさを感じたものである。

焚き火の炎には、肌身で暖かいと感じるだけでなく、朱や橙といった色に視覚的に暖かく元気にさせてくれる要素がある。また、炎はいつまで眺めていても飽きることはなく、とても心地が良い。これはそよ風や波の音、小川のせせらぎなどと同様の α 波が炎のゆらめきから発せられており、これが人の脳波に安らぎを与えてくれるという。

焚き火と共に、秋の山登りの回数を増やしたいと思う。が、その前に登山欲に火を着けなければならぬ。

(2009. 9. 吉日 by MatsuKen)

【第2579回例会報告】

京交山岳部60周年記念海外登山トレーニング 富士山 (3,776m)

井戸 澄夫

山岳部60周年記念登山として、国内登山は7月下旬に岩木山・八甲田山に登り、20名近い多数の参加であった。続いて海外登山として台湾の玉山(3,952m)を計画しているが、8月初旬に台湾南部を襲った台風8号のため多くの犠牲者が生じていることを報道により知り、深く哀悼の意を表すものである。玉山周辺についてもアクセス道路の崩壊が激しく復旧に手間取っており、登山予定日の10月14日までに復旧できるかどうか危うい状況である。こうした中でのトレーニング登山であったが、天候にも恵まれ充実した山行であった。

9月4日(金)PM9:00竹田駅西口に参加者10名が集合、2台に分乗し出発した。新名神から名古屋湾岸道路を利用すれば富士ICまで4時間強である。高速料金も祝祭日割引にかかり1,300円で、実に安い。富士宮口の新五合目駐車場には5日の3時前に到着した。9月になったとはいえ富士山の人気は高く、上の駐車場はすでに満杯である。しかも先日の落石事故のため3分の1程度は使用禁止

である。少し下ったところに幸運にも2台分のスペースがありもぐりこんだ。満天の空には星座がきらめき、おまけに満月である。テントスペースがないので、車中での仮眠をとる。

9月5日(土) AM6:00起床。前夜買ったホカ弁が朝食である。AM8:00出発する。本日の宿泊は元祖七合目の山口山荘であり、時間的にかなりゆとりがあるので宝永山にまず登ることにした。新六合目の宝永小屋からトラバースして宝永山の噴火口を左に見て登る。噴出した巨岩が噴火の激しさを物語る。新六合目から約1時間で宝永山頂(2,693m)に到着である。宝永山は1707年(宝永4年)11月の噴火で出来た山である。宝永の噴火による噴石や砂で東側の村は最大3m埋まり、大きな被害をもたらした。また100km離れた江戸の町にも火山灰が降り積もった。以降、富士山の噴火は起きていない。宝永山から須走り道を八合目まで登る道もあったが、しんどそうなので元の新六合目まで下り、表登山道を元祖七合目の山口山荘(3,010m)まで登った。山口山荘は超満員であり、1つのふとんに2人が寝る状態であった。夕食はカレーライスにコップ一杯の水。トイレはバイオトイレであり比較的清潔であった。

9月6日(日) AM1:00起床。星空と満月と夜景、いつまでも見飽きない風景である。登山道はすでに登山者が列を成している。ヘッドランプを着けて列に加わる。頭が重く足取りは重い。すでに高山病の症状が出ている。八合目を過ぎたあたりで方山さんの調子が悪くなり、岡田氏と下山した。山頂に近づくとつれ渋滞が始まり、なかなか前に進まない。それがばてたわが身にはありがたい限りである。しかし森本氏だけはすいすいと掻き分けて先に進んで行き、その姿が見えなくなった。夜も白み始めた頃、山頂の浅間神社に着いた。登り始めてから約3.5時間である。疲労困憊して立ち上がることもできない。森本氏が見当たらないので、山元・清水両氏が右回りで残りの5名が左回りでお鉢めぐりすることになった。山元・清水両氏はすぐに出発したが、残りは近くの岩場でご来迎を見た。多くの人とその瞬間に目を凝らしている。東の空は既に明るく雲の端が茜に輝きだしている。AM5:15頃、紅玉の太陽が雲海に頭を出して、見る見るその姿を現す。感動的瞬間である。これほどきれいな日の出はそう見れるものでない。15分ほどのご来迎ショーが終了し、お鉢めぐりに歩き出す。吉田口からの山頂付近は、富士宮口の5倍くらいの人でごった返している。女性軍のトイレ待ちの間に、山本・清水両氏が合流した。そこで小屋でもらった朝食用の弁当を食べた。ほとんどご飯の弁当だけどおいしかった。下山時間が近づいたので全員で元の富士宮口に戻ることにした。結局、森本氏には会えなかった。携帯で連絡をとったが通じなかった。後で聞くと電池切れだったとのことである。

御殿場方面への下山口から下り、八合目付近でトラバースして表登山道へ出る計画で下り始めた。しかし勘違いがあって下りすぎてしまい、御殿場口七合目から大砂走りを下り、宝永山への分岐から前日に通った新六合目の宝永山荘への道を再び通ることにした。大砂走りは下山には楽だが、登るのは大変である。昨日ここを登らなかったのは正解であった。新五合目の駐車場にはAM11:20に着いた。森本氏も少し前に着いたらしく、全員が合流した。まず汗を流そうということで、天母の湯(1時間400円)に入浴した。それから富士宮市街のレストランで昼食とした。高速の浜名湖SAでティータイムをとり、名古屋手前で渋滞にあったが、後はスムーズに流れPM9:00に竹田駅に着いた。天候に恵まれ、高度馴化トレーニングに十分役立った山行であった。

(追記) 下山後、台湾のツアー会社から連絡があり、結局、玉山の登山再開は10月19日からとなり、我々の計画は台湾第二の高峰である雪山(3,886m)に変更することになった。当初14名の参加希望であったが、3名が離脱し11名となった。玉山への未練は残るが、今回は雪山登頂を楽しみたく思う次第である。もちろん玉山にも別の機会に必ず登るつもりである。

【コースタイム】

(2009年9月4日) 21:00竹田駅西口—(新名神・東名)—

(5日) —1:30富士IC—2:50富士宮新五合目駐車場 6:00起床(朝食) 8:00…9:00
新六合目…10:00宝永山(2,693m) …11:00新六合目…12:50新七合目…14:00
元祖七合目「山口山荘」(泊)

(6日) 1:00起床 1:25…2:20八合目小屋…3:15九合目小屋…4:50山頂浅間神社(ご来
迎) 5:30…6:00吉田口山頂(朝食) 7:30…8:00御殿場口登山口…9:30御殿場口
七合目…11:00新六合目…11:20新五合目—12:00天母の湯 13:00—13:30昼食
14:30—16:00浜名湖SA(休憩) 17:00—21:00竹田駅西口

【参加者】岡田茂久, 方山宗子, 渡辺智生F1, 森本清一, 山元誠一, 鷺見壽末子, 清水康裕,
井戸澄夫F1(10名)

例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2579	富士山	9月4日 ～6日	晴	井戸 澄夫 清水 康裕 森本 清一 鷺見壽末子	岡田 茂久 方山 宗子 山元 誠一 渡辺智生F1 井戸F1	(別稿詳報)
2580	黒部川 赤木沢	9月10日 ～13日	雨	吉田 武	江草 哲史 大槻 雅弘 渡辺 智生 岡本 義弘	(次号報告)
2581	額井火山群	9月12日	雨	堀田 剛		悪天候のため、10 月4日に日程変更 になりました。

雑 報

△△△ 9月の集会

日 時 9月9日(水) 18:30~
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 大倉, 岡田, 方山, 堀田, 森本, 吉田, 渡辺, 和田, 清水 以上10名
内 容 例会結果, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告, 60周年記念事業 ほか

△△△ 8月の企画運営委員会

日 時 8月21日(金) 18:30~
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 井戸, 大倉, 方山, 吉田, 清水 以上5名
内 容 例会予告, 岳連関係報告, 60周年記念事業 ほか

△△△ 他山岳会の会報(受贈分)

9月号 一等三角点, 北山, 京都山岳, 趣味の登山, 青嶺, 木雞, わっぱ

△△△ 平成21年度部費徴収のお知らせ

平成21年度の部費を徴収します。年額6,000円(郵送の方は7,500円)です。企画委員か
会計担当(堀田)までお届け下さい。

△△△ 平成21年度部費受領者について

9月24日現在, 前号までに掲載しました部費受領者に加えて, 次の方々から平成21年度
会費を受領しましたので報告します。

(敬称略) 足立公弘, 井上一夫, 今道力, 大野滋久, 清水 明, 西尾直樹, 廣瀬光太郎,
松浦健一, 山岡昭弘, 山口雅直

△△△ 岳連からのお知らせ

秋の自然観察会 大文字山のきのこ

日 時 10月18日(日)
観察場所 大文字山登山道周辺
集合場所 八神社境内(銀閣寺つきあたりを左折すぐ)
日 程 9:00集合, 14:00頃解散予定
講 師 佐野 修治 先生(日本菌学会, 関西菌類談話会会員)
持 ち 物 昼食, 水筒, 雨具, ルーペ, 筆記用具
服 装 山歩きのできる服装
参加費 500円(安全保険, 資料代含), 小中学生200円(保険のみ)
申し込み 往復はがきに, 住所, 氏名, 年齢, TEL, 所属山岳会名を記入し,
〒616-8355 京都市右京区嵯峨新宮町29-11 深見 良治 まで

お申し込み下さい。

締め切り 10月11日(日)

雨天中止。当日のお問い合わせは、8:00までに深見(872-9250)までお願いします。

笠置山自然観察会「地質」

- | | |
|-------|---|
| 日 時 | 11月15日(日) [雨天の場合は22日(日)に延期] |
| 観察場所 | 京都府相楽郡笠置町(笠置山, 木津川, 布目川) |
| 集合場所 | 8:25 JR 京都駅烏丸東口前(地下) |
| 日 程 | 京都駅8:49—9:27木津駅9:43—9:49加茂駅10:10—10:20笠置駅
…(東海自然歩道)…笠置山(笠置寺, 行在所跡, 行場めぐり)…笠置橋
…(東海自然歩道)…布目川…(東海自然歩道)…笠置駅15:57—16:04
加茂駅16:12—16:19木津駅16:46—17:28京都駅(解散) |
| 徒歩距離 | 約8.5km(高度差約250m) やや健脚向き |
| 講 師 | (社)日本山岳協会自然保護指導員 杉村 忠重(歴史), 山中 博(地質) |
| 携行品等 | 昼食, 水筒, 軍手, 雨具, 非常食, 運動靴または登山靴, 帽子, (ストック) |
| 費 用 | 1人800円(資料代, 拝観料, 保険代) [小中学生は500円] |
| 地 形 図 | 国土地理院 1/25,000「笠置山」 |
| 申し込み | 10月21日(水)~30日(金)に必着するよう, 次の宛先へ往復ハガキを送ってください。先着順に受付け, 定員(30人)に達したら締め切ります。ハガキの往信面には, 住所, 氏名, 生年月日, 電話番号, (所属する場合はその山岳会名)と11月15日の自然観察会(地質)参加申込みを明記し, 雨天で延期になった場合の参加・不参加の別も必ずお書き添えてください。返信宛名面には, 自宅の郵便番号, 住所, 氏名をお書きください。同居家族の場合は1枚に連記でも結構です。 |
| 備 考 | 1 資料作成等の都合上, 申込み期日を必ずお守りください。当日の飛び込み参加は固くお断わりします。
2 帰途は次の駅で下車できます。
(宇治17:10—六地蔵17:17—東福寺17:25)
途中下車を希望の方は申込みの際, 下車駅をお書きください。
3 11月22日(日)も雨天の場合は, 中止します。
4 当日のお問い合わせは, 7:00までに深見宅までお願いします。 |